



成長の鍵を握る人材を  
いかに採用し、育成するのか。

特集・求められる人材を、求める企業へ

INDEX

特集・求められる人材を、求める企業へ — 1

向陽技研株式会社  
株式会社マスター  
さかい JOB ステーション

気になる「さかい人」録 ————— 8

人を育てる企業が、生き残る。  
作家 中谷彰宏さん

さかいモノ語り ————— 11

素材にとことんこだわった、  
果物屋さんのコンフィチュール  
有限会社千総



# 成長の鍵を握る人材を いかに採用し、育成するのか。

企業にとって、人材確保、育成、定着は大きな経営課題です。今号は、行政の人材マッチング支援サービスをつまぐ活用しながら、自社独自の採用・育成システムによってこつとした課題を解決し、急成長を遂げている2社に取材しました。「さかいJOBステーション」の取り組みとあわせてご紹介します。

## 経営理念を共有できる人づくりで 一体感のある強い組織へ

向陽技研株式会社 山下雅伸社長

オリジナルのものづくりが  
本場ヨーロッパでも高評価

地金商として1902年の創業以来、110年余りの歴史を誇る向陽技研株式会社は現在、一般家庭用やオフィス用のリクライニングや昇降、回転の金具の開発・製造を行っています。なかでも座椅子のリクライニング金具では国内のトップシェアを獲得。また、インテリアパールの先進国・ドイツの「2001年インターツム国際家具産業・木材加工見本市」で、アジア企業として初のハイクオリティ賞を受賞するなど、家具づくりで歴史



脚の高さを自在に調整できる「テーブル昇降脚」。



名門スタンフォード大学の研究室から会議室、食堂など863台のテーブルで採用された「テーブル昇降脚」。シリコンバレーにある大学らしくスタイリッシュなデザインと機能が評価された。



今秋にはドイツに現地法人を設立する予定。山下社長の「今後はヨーロッパでブランドを確立し、中国でビジネスを拡大したい」というビジョンは常に社員に向けて語られる。



「女性ならではの感性、視点を活かした高付加価値なものづくりをめざして、今後は女性社員の比率を高めていきたい」と山下雅伸社長。

あるヨーロッパにおいても高い評価を得ています。今では、売上げの約70%は海外からだとか。同社の成長の理由について山下雅伸社長は、「どこにでもあるものなら、日本から取り寄せる必要はないわけで、機能性、品質、コストパフォーマンスにおいて優位性を発揮するオリジナリティにこだわったものづくりが評価されてこそ」と語っています。

そして、そのものづくりを支えるのが「人」と山下社長は明言します。

**採用で最も重視するのは、人間として基本的なこと**

向陽技研では、一体感のある社風を構築するために新卒者の採用にこだわると山下社長は語っています。

「海外展開している当社としては、語学が堪能であることや留学経験があること



「強度」と「コンパクト」の両方を高レベルで実現させたリクライニング用ギアなど、同社のパーツは国内外で高い評価を得ている。



ものづくりに関心があったことが同社への入社志望動機だったという千本都代さん。事故で休職した時に社員の方々の温かさを実感したと語る。

とも優遇すべき点ですが、それよりも重視しているのは『素直』『礼儀』『挨拶』『思いやり』といった小学生並みの価値観です。そのうえで、当社の経営理念や価値観に共感してくださる方を採用し、現場のことはゼロから教えるほうが『急がば回れ』で結局、定着率も上がりますし、一体感のある組織づくりにつながります。

このような山下社長の思いを受けて行われているのが、新人研修の「ナギサミーティング」。二泊三日の宿泊研修で、



毎年5月、2泊3日で行われる「ナギサミーティング」。

をとっても大切にする会社だということに入社しましたが、この研修で社長を身近に感じましたし、入社1〜2年目の社員も積極的に発言していいんだと思いました」と話しています。

### 一人ひとりの競争力の高い 全員参加型経営をめざして

さらに同社の新人研修でユニークなのが、意外なきっかけで始まった中国研修です。

「リーマンショックで本社の仕事量が減った時に、新入社員を中国工場に応援に行かせたところ、驚くような高い教育効果があったのです。中国の現地社員と同じ宿舎で暮らし、同じ仕事をさせられたので、最初は不満だったようですが、やがて自分たちより安い給料で何倍もの作業をこなす現地社員たちを見て、『なぜ



今日、日本のものづくりが海外に出ていくのか」を肌身で感じ、今後、日本人としてどういう仕事をしていくべきなのかを自ら考えることになったようです」と山下社長は語っています。

「組織は風通しが良くなければ」と、同社では年度ごとの品質方針スローガンも社員全員で決め、また「感動推進委員会」では社員全員の投票による表彰制度も設けています。また機会あるごとに、山下社長も会社の進むべき方向性についてオープンに語っているのだとか。こうしたことが人材の定着率を、そして社員一人ひとりの競争力を高めていると山下社長。それが組織としての強さとなり、他社の追随を許さない、同社の高い優位性を実現しているようです。

#### 向陽技研株式会社

代表者／代表取締役社長 山下雅伸  
 本社／堺市西区草部1214  
 TEL／072-275-1300 (代)  
 設立／1902年創業 1961年設立  
 資本金／6,000万円  
 従業員数／60名(中国工場130名)  
 事業内容／家具・オフィス  
 業界向けリクライニング、昇降、  
 回転金具の開発・製造  
<http://www.koyogear.com/>



# 百年後にも貢献できる企業をめざし、 次世代の育成を

株式会社マスター 奥中泰征社長

## 少量多品種生産で 大手メーカーと差別化

1930年に奥中石鹸製造所として創業した株式会社マスター。戦後、固形の洗濯石鹸を主力に製造していましたが、やがて合成洗剤が普及し始めると、多くの石鹸メーカーが撤退するなか、同社は洗顔用の高級石鹸に事業を転換させました。大手メーカーと同じ土俵で戦っても勝てないと、少量多品種生産で差別化を図り生き残りをかけたのです。品質にもこだわり、石鹸素地に香料や顔料を配合して練り込む段階では、何とチョココレートの製造に使うスイスメーカー製のロールミルを使用。きめ細かなめらかな石鹸作りを実現しています。結果、自社ブランドのギフト製品だけでなく、ホテルや旅館のアメニティ用石鹸や、かつての競合だった大手メーカーから



単種類の石鹸が詰め合わされている大手のギフト商品との差別化を図り、お菓子のように複数の商品を詰め合わせたマスターオリジナルブランドの製品。ギフト用として女性たちの人気を集めている。



マスターでは、会社に対する家族の理解も深めようと、社員の家族向け工場見学会も行っている。参加した社員からは「家族と会社のこの会話が増えた」と好評だ。

製造委託されるOEM製品など、今日では国内トップクラスの生産数量を誇っています。

## 重視するのは「興味力」 そして「自己解決力」

こうした同社の成長にあって、奥中社長は「昔のものづくり企業は技術や設備に重きを置いていましたが、当社では『人』を重視します」と語っています。昨春から新卒の採用を始めたこともその一環です。

「これまででは欠員が出た部署に、技術経験者を中途採用していました。しかし組織をスムーズに運営するためには次の世代を育てていかなければと、4年前に私が社長に就任した頃から若手を積極的に採用。昨年から新卒または第二新卒の方を定期採用するようにしました。」  
採用に際して重視するのは「興味力」



「社会に対し価値を作り続けていく企業でありたい」と語る奥中泰征社長。それは斬新な自社ブランド製品にも現れている。



「ものづくり企業についてたいした知識もないなか、まずは入社して自分の目で見ていこうと思いました」と語る中島さん。

だと奥中社長。「興味を持たないと、何を見ても聞いてもすつと頭の中を素通りしていきます。何にでも『これはどうなっているんだらう?』と興味を持つことは、その人の引き出しを多くするということが、興味力の高い人は、面接の雑談の中でも会話がどんどんつながりますね。そして、現場で求めるのは『目の前のことから逃げないこと』。失敗しても自らその課題を解決しようという姿勢を大切に考えています。」

## 技術を伝え教えるなかで 自社独自の社風は築かれる

社員の前では多くを語らない奥中社長ですが、銀行や得意先企業に向けて自社の経営について語る時には、了承を得て若手社員を同席させるのだとか。そこには、会社がどの方向に進もうとしているのか、次代を担う若い社員に共有してほしいという考えがあります。



「さかいJOBステーション」主催の合同説明会では、奥中社長自らがブースに入り、会社のことを熱く語った。

同社の期待を担う一人、中島さんは今春の採用。高校時代を海外のインターナショナルスクールで過ごし、府内の公立大学を卒業したばかりです。「研修でも現場でも親身になってもらえて居心地が良いです。大企業と異なり、中堅企業は自分自身が会社の変化の一つになっていける可能性があるのが楽しみ」と話していました。

「一人ひとりの技術に依存するのではなく、社内でも技術やノウハウを教える、伝える」ということが積み重ねられて



こそ、その企業の社風というものが確立していくのだと思っています」と語る奥中社長がめざすのは、百年、二百年後にも社会に貢献できる企業であり続けることです。

### 株式会社マスター

代表者／代表取締役社長 奥中泰征  
本社／堺市西区北条町2-30-2  
TEL／072-278-2244  
設立／1930年創業 1960年設立  
資本金／6,000万円

従業員数／150名  
事業内容／化粧石鹸、透明石鹸、  
ホテルアメニティ、  
ボディソープ、シャ  
ンプー、コンディシ  
ヨナーなどの開発・  
製造

<http://www.mastersoap.co.jp/>



# 企業の採用活動を、 求職者視点できめ細やかにサポート

さかいJOBステーション

森原眞利子センター長

横道 幸広統括



39歳までの若年層と全年齢層の女性を対象に、求職活動に必要な情報が提供される「さかいJOBステーション」。



「私たちの役割は、働く意志の強い求職者を早期に就職につなげて、就職先でスムーズに業務を遂行できるように支援することです」と語る森原眞利子センター長。

## 堺における若年層の 就職支援を目的にスタート

若年層の雇用環境が悪化するなか、国が策定した「若者自立・挑戦プラン」に基づき、各都道府県が全国的に設置した「ジョブカフェ」。その流れを受け、堺市でも独自に若年層の就職支援を行うおうと、2005年に開設したのが、現在の「さかいJOBステーション」（以下、ステーション）の始まりです。

堺市の求職者の状況について、森原眞利子センター長は「堺は、特に地元志向



「魅力と個性のある堺市内企業の人材採用・育成のお手伝いをしたい」と横道幸広統括。

が強く、ステーションで行ったアンケート調査でも、回答者の約7割が地元での就職を望んでいます。しかも、若い人に不人気だと思われる製造業を約33%の人が希望。企業の知名度よりも、自分が頑張れる企業を望む人が多いように思いますね」と語っています。

向陽技術株式会社の本都代さんも「堺市に特化された情報がとても充実していて良かった」と話していました。森原センター長は、同ステーションの特徴を「利用者は全員、早期に就職したいという意欲の高い求職者」だと強調しています。

## 「届きにくい情報を届ける」 求人企業の雇用支援へ

しかし、ハローワークに提出される求人票だけでは具体的な中身が見えず、求職者は給与や休日など表面的な雇用条件に囚われがち。若い人材を求める企業が堺にはたくさんあることを知ってもらうことが必要だと考えたステーションは、2009年に企業支援チームを立ち上げ、翌年に「企業人材マッチング支援プラザ」を開設しました。

企業人材マッチング支援プラザの統括・横道幸広さんは「当初は求人票を出している企業を一家社訪問して回ることから始めました。最近では認知され始め、企業からの問い合わせや、利用企業からの紹介なども増えています。5月13日現在、『さかいサポーター企業』としての登録企業は719社。企業の『届けられない情報をお届け』お手伝いをしたいと考えています」と語っています。

「さかいサポーター企業」になれば、さまざまな雇用支援サービスや定着支援サ

利用者を「お客様」として尊重するステーションでは、「一緒に考えよう！」をコンセプトに、スタッフが一人ひとりに丁寧に対応してくれる。



同ステーションを利用した企業から「満足度85%以上」という高い評価を得ているのは、企業支援チームのきめ細やかなサポートによるもの。例えば、ステーションオリジナルの「求人企業情報カード」は、リクルーティングアドバイザー

## 会員専用ハローワークも開設 ワンストップサービスを完成

ービスを受けられますが、なかでも最近、企業と求職者の両方から好評なのが、経営者が自ら求職者に自社をアピールできる交流イベント「GOOD JOB!! in さかい」です。きっかけはある経営者が「ハローワークや求人誌に採用情報を出しても若い人が来ない」とステーションに相談されたことでした。「では、求職者の前で直接、会社のことを語ってみませんか」と始めたのが、今では年24回開催される人気イベントになっています。

ーが求人企業を訪問して、経営者の思いや職場の雰囲気、先輩の声など、求職者の視点で取材した内容を盛り込んでおり、雇用条件だけでは見えない企業の姿がよく紹介されています。

また、年に3回開催される合同説明会では会場の提供というハード面だけでなく、どう企業をアピールすべきかのソフト面からの丁寧なサポートも。企業にとって期待できる人材の採用が生まれています。

今年4月には会員専用のハローワークコーナーがステーション内に開設され、ステーションに欠けていた「紹介」機能

を補完。「ようやくワンストップセンターとしての形が整いました。これからの世の中の変化や、企業・求職者のニーズを敏感にキャッチしながら、それらに相應るサービスを提供していきます。」と、森原センター長。

人材の採用、育成に悩む企業にとって、より心強いサポートとなることでしょう。



求人企業が直接、求職者と交流する「GOOD JOB!! in さかい」は採用ばかりでなく、就職後の定着率向上にも貢献している。



年に3回開催される「さかい合同企業説明会」に向けては、企業に対しアピール方法などもきめ細やかにアドバイス。

## さかいJOBステーション 「企業人材マッチング支援プラザ」のご案内

### 【雇用支援サービス】

求人票に記載される雇用条件だけでは見えてこない企業の経営理念や特徴、人材育成に向けられた熱い思いなどをうまくアピールできるツールや場、機会を提供します。

- オリジナル求人企業情報カードの作成
- 求職者との交流イベント「GOOD JOB!! in さかい」の実施
- 合同説明会の優先案内と情報提供
- さかいJOBステーションHPへの掲載

### 【定着支援サービス】

雇用した人材の育成支援や、定着するまでにきめ細やかなアフターフォローを行っています。

- 新入社員研修の提供
- 人事担当者向け採用セミナーへの参加
- さかいJOB倶楽部への参加
- ほっとボイス(若者の声を届けます)

### 「ハローワークコーナー」がオープン!

求職者は、オリジナル企業求人情報カードで興味を持った企業への紹介をその場ですぐに受けられます。また企業の求人受付もおこないますので、求人企業にとっての利便性が高まりました。



- ご利用時間  
10:00~19:00(月~金)  
求人受付は17:15まで  
【土・日・祝休日・年末年始休み】

### さかいJOBステーション「JOBカフェSAKAI」「女性しごとプラザ」

月曜～金曜 / 10:00～19:00(受付18:45終了)  
第4土曜日 / 12:00～18:00(受付17:45終了)  
休館日: 日・祝日、土曜日(第4土曜を除く)、年末年始  
堺市堺区中瓦町2-3-24 博愛ビル2F  
企業受付ダイヤル TEL.072-238-4750(9:15~18:00)  
<http://www.jobcafeosaka.jp/station/>

# 日本最大級の食の祭典「'13食博覧会・大阪」で「堺の食」と「伝統産業」をPR!



大型連休の期間中にインテックス大阪で開催された「'13食博覧会・大阪」。期間中、65万6270人の来場者を集めた。

堺市では、堺の農産物ブランド「堺のめぐみ」のPRの一環として、4月26日～5月6日にインテックス大阪（大阪国際見本市会場）で開催された「'13食博覧会・大阪」に出展しました。当センターでは「堺のめぐみ」のPRに併せて、堺の伝統産業である和菓子や昆布、刃物などの実演・販売を行い、65万人を超える来場者に「堺の食」と「伝統産業」を大々的にアピールしました。



堺市の出展会場は、郷土料理を中心に日本全国からの味を集めた日本の味覚館「ふるさと街道」。



正面が伝統産業の実演・販売コーナー。



刃物研ぎを実演中の森本光一さん。

## 65万人の集客がある食博覧会

「食博覧会・大阪」は、1985年の第1回目から4年毎に開催されており、前回までの計7回で400万人を超える来場者を集めた日本最大級の食の祭典です。8回目となる今年は、65万6270人の来場者がありました。

堺市では、この食博覧会に堺市地産地消推進協議会を出展主体に堺ブースを構え、「堺のめぐみ」を使用した小松菜ロールケーキや美原区で生産している古代米の加工品などの食品販売をしたほか、当センターが中心となって食関連の伝統産業品である和菓子や昆布、刃物などを販売し、「堺の食」全体をPRしました。

また、販売のほか、刃物研ぎや和菓子作り、おぼろ昆布作りなどの伝統産業の実演を日替わりで開催し、積極的にアピールしました。どの実演でも多くの方が足を止め、熱心に見入っていました。



## 堺をアピールする絶好の機会に

刃物研ぎの実演をしていただいた森本刃物製作所代表の森本光一さん（伝統工芸士、堺市ものづくりマイスター）は「情報があふれている時代ですが、目の前で見える機会は少ないですし、これほどよくわかることはありませんから、みなさん熱心に見てください」と話されていました。

食博覧会には大阪以外からも多くの方が来場されます。昆布を買われた京都のお客様は「昆布は好物なのでいつもよく買っていますが、堺の名産だとは知りませんでした」と、驚かれていました。今回の出展は、「堺の食」と「伝統産業」を広くアピールするうえで貴重な機会となりました。

### 東北復興応援物産市を開催

6月1日（土）から東日本大震災で被害を受けた東北地方の特産品を堺伝統産業会館にて常設販売します。また、被災地の過去・現在の状況や堺市の取組などを紹介した写真やパネル展も併せて実施します。なお、物産市の売上金は全額各地域にお渡しします。

【開催場所】堺伝統産業会館（堺市堺区材木町西1丁1-30）

物産市：1階「匠のひろば」、イベント開催時に、外構スペースにて特設販売の予定。

パネル展：2階研修室1  
※7月15日（祝・月）まで

【時間】10:00～17:00





作家 中谷彰宏さん

1959年大阪府生まれ、堺市出身。府立三国丘高校卒業。早稲田大学文学部演劇科を卒業後、博報堂に入社。CMプランナーとして、テレビ・ラジオCMの企画・演出を行う。1991年に独立、株式会社中谷彰宏事務所を設立。「中谷塾」を主宰し、全国で講演、ワークショップ活動を行う。2007年から「堺・教師ゆめ塾」塾頭を務める。『感謝の星』など、著作は900冊を越す。

<http://www.an-web.com/>



中谷塾で、あらゆる分野のリーダーを作るために「大人の寺子屋」をしている。

## 人を育てる企業が、生き残る。

「夢のある子供たちを育てるために、夢のある先生を育てる」ための「堺・教師ゆめ塾」。堺市出身で、「堺・教師ゆめ塾」塾頭の中谷彰宏さんに、人材育成のアドバイスをうかがいました。

「中谷さんは、いろんな仕事をされていますが、職業をひとりで言うとなんですか」と、陸上自衛隊東部方面總監の渡部悦和さんに聞かれました。「リーダーを育てる仕事です」と、僕は即答しました。

今「堺・教師ゆめ塾」で塾頭として、未来の先生を育てています。夢のある子供たちを育てるために、夢のある先生を育てることが大切なのです。毎年、面接で選ばれた100名以上の塾生が、学んでいます。

僕は、消防大学校で、全国1700の消防署から集まった、まもなく消防署長になる消防司令(平均年齢48歳)にリーダーシップを教える授業もしています。ビジネススクールで、世界で活躍できる起業家を育てています。

私塾の中谷塾でも、東京・大阪・名古屋の大人のためにリーダー育成をしています。「堺・教師ゆめ塾」も消防大学校もビジネススクールも中谷塾も、目指していることは同じです。たった一つ、未来を作るリーダーを作ることです。

「堺・教師ゆめ塾」で育てているのは、ただ子供たちに勉強を教える先生ではありません。いざ災害が起こったら、

学校は避難所になります。しかも、近隣の人たちではなく、その場所とはかわりのない帰宅難民の人が、一気に学校に押し寄せます。先生は、それを仕切っていくリーダーになるのです。東北各地は、リーダーがいる地域は盛り上がり、リーダーのいない地域は、盛り上がりません。ただ、災害の盛り上がりは、防げません。ただ、災害のダメージを最小限に食い止め、立ち直ることはできます。それは、ひとえにリーダーがいるかどうかです。その未来のために、リーダーを育てています。

企業の社会的役割は、リーダーを育てることです。あらゆる企業が、教育機関なのです。優秀な人材を採用しようとする企業は、存続できなくなりました。時代の変動のスピードが速すぎるので、今優秀な人材は、5年後には使えない人材になっているからです。生き残ることができる企業は、どんな新人が入ってきてても、リーダーに育てる育成プログラムを持っている企業です。

堺は、職人の街です。職人の妻は、弟子を育成していくプログラムを持っているということです。未来のために、一緒に育成に力を入れていきましょう。

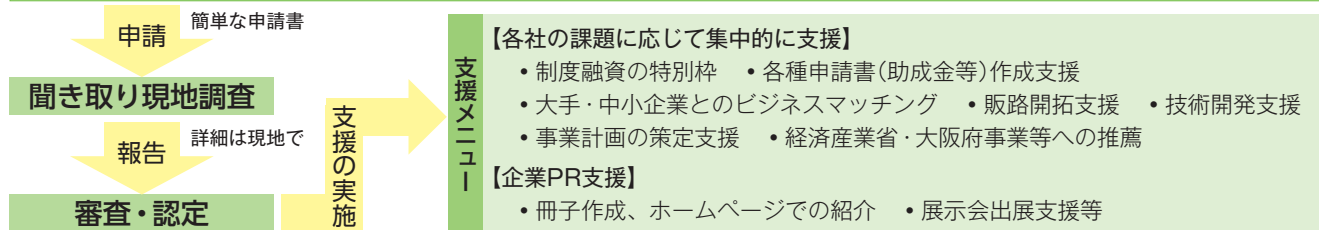


当センターでは、自社製品若しくは技術を活かして、低炭素化・省エネルギーを中心とした環境ビジネスに参入している企業を「さかい環境チャレンジ企業」として認定しています。現在、第3回の申請企業を募集しています。詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.sakai-ipc.jp/bizsupport/management/lc.html>

### 環境・低炭素化に資する技術開発等の実績

(自然エネルギー、省エネ、リサイクル、次世代自動車、有害物質配慮 等に関する製品・技術)



## 「第2回さかい環境チャレンジ」認定企業のご紹介

詳細は当センターホームページをご覧ください。認定企業を掲載した冊子は当センターで配布しています。

### (株)エイワット LED STREET LIGHT

主な事業内容：環境・エネルギーコンサルティング事業、自然エネルギーシステムの販売・施工、環境関連機器の製作等

**ポイント**：金属加工技術とコンサルティング力で新エネルギーシステムを提案。

〒587-0012 堺市美原区多治井20-1

TEL 072-362-3329 <http://www.eiwat.co.jp/>



### エース技研(株) 液体の精密定量吐出装置

主な事業内容：液体定量吐出装置・全自動塗布装置・ディスペンサー製造および販売

**ポイント**：微量の液体塗布も自在に制御。生産現場の効率化に貢献。

〒590-0006 堺市堺区錦綾町1丁2-35

TEL 072-228-4869 <http://www.ace-giken.co.jp>



### (株)オカノプラスト 精密ショットピーニング、精密ラッピング

主な事業内容：精密ショットピーニング、精密ラッピング、プラスト処理等

**ポイント**：小型・軽量化金属部品の強度を上げる独自の表面処理。

〒599-8247 堺市中区東山648

TEL 072-234-0999 <http://www.okano-blast.co.jp/>



### 近畿電解錫工業(株) アルカリ溶液を使った金属精製、電解剥離、表面処理技術

主な事業内容：金属スクラップの回収、メッキの電解剥離

**ポイント**：大阪府下で唯一の剥離技術。高純度の金属リサイクルを可能に。

〒590-0906 堺市堺区三宝町9丁-39 1

TEL 072-229-7334

<http://www2.ocn.ne.jp/~denkai77/>



1階常設展示場  
堺のものづくりコーナー  
出展企業のご紹介⑦  
ちえこ・ひらめき株式会社

当センター1階では、ものづくり産業全般の製品を展示しています。さらにパネルでも企業の説明を行い、堺の今の産業を分かりやすく紹介しています。IPCプレスでは毎回展示企業をご紹介します。

## 『「環境汚染は一休み」をキーワードに地域貢献を目指します。』

ダンボールを使用したアイデア商品の製造販売会社を設立し40年。その後、東日本大震災の際にダンボール製品を提供し、さらに環境啓発を通じて地域貢献の重要性を痛感しました。

現在は、ダンボール製品販売をはじめ、地域交流の場を設けて「環境汚染は一休み」をモットーに、自然を実感しながら環境啓発を行っています。

また、自然環境の中で「食＝健康」につながる様々な環境の講習会を「旬菜料理 一休」を通じて始めています。

〒599-8114 堺市東区日置荘西町3-19-3 TEL 072-349-4485



# 堺 発 ! 売れる名品づくり支援事業

堺市では、平成23年度から、堺の地域資源(農水産品、伝統産品、歴史・文化・観光資源等)を活用した新商品の開発や既存商品の改良に対し、その経費の一部を補助する事業を行っています。

## 【平成24年度 本事業支援対象商品】

### ■株式会社郷田商店

商品名：塩糶昆布

商品説明：堺の伝統産業である昆布加工の技術を用いて、上質な昆布を丁寧に炊き上げ、堺で古くから醤油製造を営む『糶屋雨風』が仕込む手作りの塩糶の粉末を絡めた商品。昆布の形状を細かくカットしており、お料理の味に広がりを持たせる調味料として使うことができる。販売価格1,575円。

問合せ先：株式会社郷田商店

堺市堺区市之町東5-1-23

TEL：072-222-6688 FAX：072-222-6699



### ■株式会社クラフトワーク(旧costamilia株式会社)

商品名：壺人(つぼんど)ストール

商品説明：堺の伝統産業である「注染」の技術を用いて、全工程を堺の熟練職人の手により仕上げた手染めストール(コットン100%)。手染めならではのやさしい色合い、製品ひとつひとつに微妙に違う「にじみ」や「ぼかし」により、オリジナルな1点ものを楽しんでもらう商品。販売価格8,800円。

問合せ先：株式会社クラフトワーク

堺市西区原田199-19 TEL：070-5260-1308



### ■西尾茗香園茶舗

商品名：お茶漬けの素「極 抹茶だし」

商品説明：上質な和風だしをベースに、宇治の抹茶を加えたお茶漬け用のだし。江戸末期創業の堺の日本茶の老舗と、同じく江戸時代から堺で醤油を作り続ける『大醬』が手を組み、手軽に本格的なお茶漬けを楽しめる商品として開発。販売価格630円(200ml瓶入り、1本で約13膳分)。

問合せ先：西尾茗香園茶舗

堺市堺区市之町東1-1-24

TEL：072-232-4389 FAX：072-232-4389



### ■平山繊維株式会社

商品名：堺ぶらり旅お出かけセット「堺で作ってるさかい」

商品説明：堺の伝統産業である「注染」と泉州の地場産業「和泉木綿」を用い、すべての工程において、堺の職人の手により加工された「メイド・イン・堺」の商品。堺をモチーフにしたデザイン(全6種類)で、巾着袋・お膝あて・コースター・箸袋をセットにしたもの。他に手ぬぐい、風呂敷、アロハなども商品化。販売価格2,625円。

問合せ先：平山繊維株式会社

堺市堺区神石市之町16-16

TEL：072-261-9429 FAX：072-261-9426



### ■堺共同漬物株式会社

商品名：漬物屋さんのスイーツ とろける安納ぼと

商品説明：堺の友好都市である種子島の安納芋を、漬物屋ならではの自然の加工法を用いて開発した甘くとろけるスイーツ。素材そのものを生かすよう、漬物屋が使う材料(塩、砂糖、冰糖水)のみで仕上げています。常温で2カ月保存可能。



販売価格1,050円(安納芋の収穫が11月~2月のため、来季からの販売)。

問合せ先：堺共同漬物株式会社

堺市中区深阪2284-1

TEL：072-237-2421 FAX：072-237-2415

## 中小企業を全力応援

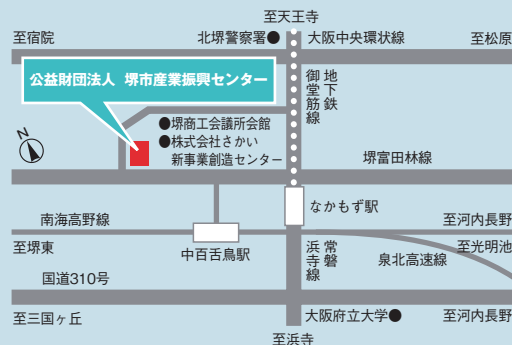
### 公益財団法人 堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5

TEL.072-255-3311(代) FAX.072-255-5200

<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m ◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m ※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

# 素材にとことんこだわった、 果物屋さんさんのコンフィチュール

創業125年余りの老舗果物店、有限会社千総。果物へのこだわりから誕生したコンフィチュールが人気を集め、自店舗やネットでの販売はもちろん、大手百貨店などから数多くの引合いがあるそうです。さらには他企業からOEM商品の企画・開発の依頼が多く寄せられているとか。人気の秘密を西辻宏道社長にうかがいました。

千総は明治20年に「カネテ」の屋号で創業。以来、卸売業から小売業へ、屋号を「千総」に改めても、一貫して果物だけを取り扱ってきました。4代目の西辻社長にもその誇りが受け継がれ、現在のコンフィチュール作りに生かされています。

「もともと、先代の時にお客様へのノベルティとして作ったジャムが好評で、瓶詰などの製造許可を取得。2004年にオリジナルブランドとして『アトリエ コンフィチュール』を設立しました」と西辻社長。

その後、出展した『食博覧会』で大きな反響を得て、テレビ番組などでも多く取り上げられるようになり、今では本屋さんやネットでも直売するほか、大手百貨店などへ大きく販路を広げています。

その人気の秘密は素材へのこだわり、そして製造方法へのこだわりにあります。「果物本来の味を楽しんでいただきたい

ので、主原料は果実と砂糖だけで、ペクチンなどの増粘剤や着色料、防腐剤などは一切使っていません。産地も国内にこだわりの、ラベルにも明記することが安心感につながっているようです」と西辻社長。

最近ではゼリーやお酢などへと広がっていますが、西辻社長は「それでもうちはいくまでも果実店です。ジャム屋になることにはない。フルーツがもつさまざまな可能性をもっと伝えていきたいんです」と語っていました。



## 有限会社千総



現在も果物店であることにこだわり、店先にはジャムと果物が並び

コンフィチュールとはフランス語でジャムのこと。「アトリエ コンフィチュール」では複数の素材を掛け合わせた新感覚のミックスタイプのもをコンフィチュールとし、1種類の果実だけで作ったオーソドックスなものをクラシカルジャムとしています。増粘剤を使わず果実を煮詰めて作るため、果汁と皮だけのママレードには苦労されたとか。皮のカット

方法を工夫することで解決しています。「農家さんとの連携を強めた契約栽培や、休耕地を利用して自ら栽培にも取り組みたい」と西辻社長。そこには日本の農産物、ひいては日本の農業を大切に守りたいという思いがありました。

有限会社千総  
堺市南区茶山台 1-2-3  
☎ 072-293-1031  
<http://www.rakuten.co.jp/sen-sou/>



西辻宏道社長

